



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) デイグネジオ・フレドリック・レッツ
問合せ先責任者 (役職名) 管理部 部長 (氏名) 北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100
四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	131	△93.3	△94	—	△85	—	△84	—
2022年3月期第1四半期	1,961	982.8	513	—	505	—	427	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △86百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 424百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.29	—
2022年3月期第1四半期	11.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,737	1,093	61.6
2022年3月期	1,862	1,182	62.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,070百万円 2022年3月期 1,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,102	31.9	20	△89.3	17	△90.8	7	△94.9	0.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	37,131,000株	2022年3月期	37,131,000株
2023年3月期1Q	60,400株	2022年3月期	60,400株
2023年3月期1Q	37,070,600株	2022年3月期1Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が一気に緩和され、国内の経済活動が正常化される一方で、中国における感染拡大や、ウクライナ情勢の長期化による原材料の高騰による物価上昇、大幅円安などの影響から景気の先行きは依然、予断を許さない状況が続きました。

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下における良好な資金調達環境を背景として、投資家による物件取得意欲は依然高い状況にあるものの、底堅く推移いたしました。

また、当社が注力するホテル関連分野の市場におきましては、コロナの影響の縮小による国内旅行者の急増や、訪日外国人旅行者の入国制限が一部解除されるなど、一時的な回復は見せたものの、新たなコロナ株による感染者急増等により、依然安定回復の見通しが立っていない厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社グループでは、創業からの「不動産事業」に加え、ホテル・宿泊施設等の運営、支援、開発等の事業を行う「ホテル運営事業」、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデンで同施設の運営や卸売販売等を行う「その他事業」について、それぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は131,636千円（前年同四半期比93.3%減）、営業損失は94,392千円（前年同四半期は営業利益513,361千円）、経常損失は85,013千円（前年同四半期は経常利益505,917千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は84,785千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益427,010千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「プリンシパルインベストメント事業」「ソリューション事業」から、「不動産事業」「ホテル運営事業」に変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において、主にプロパティマネジメントに注力した結果、売上高は59,824千円（前年同四半期比96.8%減）、セグメント損失（営業損失）は3,071千円（前年同四半期は596,974千円の営業利益）となりました。

(ホテル運営事業)

ホテル運営事業につきましては、自社ブランド、グローバルホテルブランドのサードパーティオペレーターとして、ホテル運営受託の獲得を目指し、賃貸借によるホテル経営、コンサルティング等に注力したものの、新規受託先の開業は第2四半期以降であることから、売上高は8,846千円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント損失（営業損失）は19,783千円（前年同四半期は6,695千円の営業損失）となりました。

(その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、近隣の観光施設としてお出かけ需要を取り込む施策が奏功し、ハーブガーデン事業の売上高は、コロナ前の水準を上回り順調に推移しましたが、設備投資や、修繕に関する費用が膨らんだ結果、売上高は62,966千円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント損失（営業損失）は6,317千円（前年同四半期は4,975千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ204,527千円減少し1,532,309千円となりました。これは主として、現金及び預金が279,061千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ24,460千円増加し144,387千円となりました。これは主として、有形固定資産が26,189千円増加したこと等によるものです。繰延資産は、開業費が54,397千円増加し、60,317千円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ125,668千円減少し、1,737,014千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ24,682千円減少し305,398千円となりました。これは主として、未払法人税等が41,459千円の減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ12,756千円減少し337,767千円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ37,439千円減少し、643,165千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ88,229千円減少し、1,093,848千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ホテル運営事業に係る新規開業案件、運営受託案件の収益は、第2四半期以降に計上される見通しです。
2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,333,959	1,054,897
売掛金	31,354	32,129
販売用不動産	353,115	349,588
その他の棚卸資産	12,823	13,665
その他	10,065	86,492
貸倒引当金	△4,480	△4,465
流動資産合計	1,736,836	1,532,309
固定資産		
有形固定資産	40,886	67,075
無形固定資産	3,831	3,703
投資その他の資産		
投資その他の資産	248,209	246,608
貸倒引当金	△173,000	△173,000
投資その他の資産合計	75,209	73,608
固定資産合計	119,927	144,387
繰延資産	5,919	60,317
資産合計	1,862,683	1,737,014
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,437	7,514
1年内返済予定の長期借入金	52,425	48,540
未払法人税等	45,285	3,826
賞与引当金	8,562	3,410
その他	217,371	242,106
流動負債合計	330,080	305,398
固定負債		
長期借入金	311,394	299,259
資産除去債務	30,111	30,144
その他	9,018	8,363
固定負債合計	350,524	337,767
負債合計	680,605	643,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	△873,201	△957,927
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	1,160,731	1,076,005
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,157	△5,232
その他の包括利益累計額合計	△3,157	△5,232
新株予約権	24,504	23,075
純資産合計	1,182,078	1,093,848
負債純資産合計	1,862,683	1,737,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,961,074	131,636
売上原価	1,292,315	73,771
売上総利益	668,759	57,865
販売費及び一般管理費	155,397	152,258
営業利益又は営業損失(△)	513,361	△94,392
営業外収益		
受取利息	11	0
受取保険金	2,467	-
受取遅延損害金	94	6,036
為替差益	2,367	3,413
その他	1,973	1,301
営業外収益合計	6,914	10,753
営業外費用		
支払利息	3,588	1,114
資金調達費用	2,537	72
和解金	8,232	-
その他	-	187
営業外費用合計	14,358	1,374
経常利益又は経常損失(△)	505,917	△85,013
特別利益		
新株予約権戻入益	1,000	800
特別利益合計	1,000	800
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	506,917	△84,213
法人税等	80,569	572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	426,347	△84,785
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△663	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	427,010	△84,785

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	426,347	△84,785
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,398	△2,074
その他の包括利益合計	△1,398	△2,074
四半期包括利益	424,948	△86,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,611	△86,860
非支配株主に係る四半期包括利益	△663	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営事業	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,866,767	9,444	1,876,211	56,655	—	1,932,866
その他の収益	28,207	—	28,207	—	—	28,207
外部顧客への売上高	1,894,974	9,444	1,904,418	56,655	—	1,961,074
セグメント利益又は損失(△)	596,974	△6,695	590,278	△4,975	△71,941	513,361

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営事業	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	54,940	8,846	63,786	62,966	—	126,752
その他の収益	4,883	—	4,883	—	—	4,883
外部顧客への売上高	59,824	8,846	68,670	62,966	—	131,636
セグメント損失(△)	△3,071	△19,783	△22,854	△6,317	△65,220	△94,392

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、ホテル運営事業の本格的な展開、経営管理体制の実態の観点からセグメントについて再考した結果、報告セグメントの区分表示を「プリンシパルインベストメント事業」「ソリューション事業」から、「不動産事業」「ホテル運営事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。